安全データシート

パッチコロン®水和剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠
作成日: 2008/07/29　改訂日: 2024/10/01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称　：パッチコロン®水和剤
整理番号　：AGA10202Jb_08

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途　：農薬（殺菌剤）
使用上の制限　：推奨用途以外への使用は禁止する

会社情報

供給者の会社名称

三井化学クロップ＆ライフソリューション株式会社
国内マーケティング部
東京都中央区日本橋一丁目 19 番 1 号
T 03-5290-2740 - F 03-3231-1176

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1A
	生殖毒性(授乳に対する又は授乳を介した影響)	追加区分
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（免疫系, 呼吸器系, 腎臓）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（肝臓）
環境有害性	水生環境有害性　短期（急性）	区分 3
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分 3

*記載のないものは区分に該当しない、あるいは分類できない。

ラベル要素

絵表示（GHS JP）

注意喚起語（GHS JP）　：危険
危険有害性（GHS JP）　：強い眼刺激（H319）
遺伝性疾患のおそれの疑い（H341）
発がんのおそれ（H350）
授乳中の子に害を及ぼすおそれ（H362）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（免疫系、呼吸器系、腎臓）（H372）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（肝臓）（H373）
長期継続的影響によって水生生物に有害（H412）

注意書き（GHS JP）

安全対策	:	使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260) 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。(P263) 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
応急措置	:	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313) 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314) 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)
保管	:	施錠して保管すること。(P405)
廃棄	:	内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	:	混合物
化学名	:	(RS)－2－(4－フルオロフェニル)－1－(1H－1，2，4－トリアゾール－1－イル)－3－トリメチルシリルプロパン－2－オール混合物
別名	:	シメコナゾール製剤

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
シメコナゾール	20.0	対象外	8-(3)-1030	149508-90-7
鉱物質微粉・界面活性剤等	80.0			
結晶質シリカ(石英)	16	(1)-548	既存化学物質	14808-60-7
非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	6.0	-	-	112926-00-8
ケイソウ土(SiO_2)	6.0	-	-	61790-53-2
アルキルベンゼンスルホン酸金属塩	1.2	-	-	69669-44-9
ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	0.7	(2)-1620,(2)-1623	2-(4)-384,2-(4)-692	577-11-7

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	:	汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐこと。 皮膚は多量の水で洗浄する。 外観に変化が見られたり痛みが続く場合には、医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合	: 直ちに清浄な水で数分間注意深く洗うこと。 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄すること。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 水で口の中を洗浄し、直ちに医師の診断／手当てを受けること。 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。 毛布等で保温して安静に保つこと。
応急措置をする者の保護	: 救助者は有害物質に触れないよう、適切な保護具を着用すること。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、砂
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止すること。 危険なくできる時は、燃焼の供給源を速やかに止めること。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移すこと。 容器、周囲の設備等に散水して冷却すること。 消火活動は、可能な限り風上から行うこと。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。 漏出物との接触及び吸入を避けること。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 漏出したものをすくいとり、又は掃き集めてドラム等に回収すること。

浄化方法 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。
危険なくできる時は、漏出源を遮断し、漏れを止めること。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 作業所の十分な換気を確保する。
屋内で取り扱う場合は、「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行う。

安全取扱注意事項 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。
取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。
部屋の排気および全般的な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
危険エリア内の床、壁、その他の表面は定期的に清掃しなければならない。
妊娠中／授乳期中は接触を避けること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
皮膚、眼との接触を避ける。
容器を転倒、落下させ、衝撃を加える、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしないこと。

接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」記載の混触危険物質との接触及び保管を避けること。

衛生対策 : 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗うこと。手袋等の汚染された保護具を持ち込まないこと。

保管

安全な保管条件 : 施錠して保管すること。
食品、飲料、動物用飼料とは区別して保管すること。

安全な容器包装材料 : はり合わせアルミはく袋、シリカ蒸着樹脂等。

技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

結晶質シリカ(石英) (14808-60-7)	
日本 – ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	結晶質シリカ
許容濃度	0.03 mg/m³ (吸入性粉塵)
特記事項 (JP)	発がん性分類 1
規則参照	許容濃度等の勧告(2023 年度)産衛誌 65 巻

ケイソウ土（SiO_2）（61790-53-2）	
日本 - ばく露限界値（日本産業衛生学会）	
現地名	第 1 種粉塵（ケイソウ土）# Dusts Class 1 (Kieselguhr)
許容濃度	0.5 mg/m³ 吸入性粉塵 2 mg/m³ 総粉塵

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する、屋内で取り扱う場合には、局所排気装置および／または全体換気装置を使用する。
取り扱う場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具 : 農薬用マスク
手の保護具 : 保護用手袋（不浸透性）
眼の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル、保護面
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する、保護帽子、保護服（不浸透性）、保護長靴等
環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体
外観 : 水溶性フィルム袋入り粉末
色 : 類白色
臭い : 特異臭
pH : 9.9 (20%)
融点 : データなし
凝固点 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
可燃性 : 可燃性固体の区分には該当しない
蒸気圧 : データなし
相対密度 : 0.298（見掛け比重）
密度 : データなし
相対ガス密度 : データなし
溶解度 : 水へ水和分散する。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) : データなし
爆発限界 (vol %) : データなし
動粘性率 : データなし
粒子特性 : 粒径分布: ≤ 45 μm（粒径範囲）

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性 : 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性 : データなし
避けるべき条件 : 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第 7 項参照）。

混触危険物質 : データなし

危険有害な分解生成物 : 燃焼時、有害ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性（経口） : 区分に該当しない

急性毒性（経皮） : 区分に該当しない

急性毒性（吸入） : 区分に該当しない(分類対象外)（気体）
区分に該当しない(分類対象外)（蒸気）
区分に該当しない（粉じん、ミスト）

パッチコロン®水和剤	
LD50 経口 ラット	2714 mg/kg（雄）、2982 mg/kg（雌）
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット（粉じん / ミスト）	> 5.55 mg/L/4h

皮膚腐食性／刺激性 : 区分に該当しない
ウサギ　軽度刺激性
紅斑　24 時間後までに消失

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 強い眼刺激
ウサギ　中等度刺激性
角膜混濁、虹彩炎、結膜発赤及び浮腫　10 日後までに消失

呼吸器感作性 : 分類できない

結晶質シリカ（石英）	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

非晶質シリカ（非晶質沈降シリカ）	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

ケイソウ土（SiO_2）	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	
呼吸器感作性	データなし。

皮膚感作性 : 区分に該当しない
モルモット　陰性

生殖細胞変異原性 : 遺伝性疾患のおそれの疑い

シメコナゾール	
生殖細胞変異原性	Ames 試験　陰性、染色体異常試験　陰性、マウス小核試験　陰性

結晶質シリカ（石英）	
生殖細胞変異原性	区分 2

非晶質シリカ（非晶質沈降シリカ）	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。

ケイソウ土（SiO_2）	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。

ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。

発がん性 : 発がんのおそれ

シメコナゾール	
発がん性	ラット及びマウスを用いた発がん性試験において、肝臓における腫瘍の増加がみられたが、フェノバルビタール様作用であり、閾値が認められたことから、区分に該当しない。

結晶質シリカ（石英）	
発がん性	ヒト及び実験動物での発がん性情報より、IARC は本物質粉じんばく露によるヒト発がん性に対し、「グループ 1」に分類し、他の国際機関による発がん性分類結果としては、日本産業衛生学会が「第 1 群」に（産衛学会勧告（2015））、ACGIH が 2004 年以降「A2」に（ACGIH（7th, 2006））、NTP が結晶質シリカ（吸入性粒子径）に対して、「K」に分類している（NTP RoC（13th, 2014））。よって、本項は区分 1A とした。

非晶質シリカ（非晶質沈降シリカ）	
発がん性	本物質は合成型非晶質シリカに分類され、IARC は非晶質シリカ全体に対して発がん性分類を「グループ 3」とした（IARC 68（1997））。よって、IARC の評価に従い分類できないとした。

ケイソウ土（SiO_2）	
発がん性	結晶質シリカについては、IARC でグループ 1 に（IARC 100C（2012））、NTP で K に（NTP RoC（14th, 2016））、日本産業衛生学会で第 1 群に分類されており（許容濃度の勧告（2016））、区分 1A に分類される。本物質は、区分 1A に該当する結晶質シリカを発がん性区分 1 のカットオフ値（0.1%）以上含有していることから、区分 1Aとした。

ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	
発がん性	データなし。

生殖毒性 : 分類できない
授乳中の子に害を及ぼすおそれ

シメコナゾール	
生殖毒性	ラットを用いた 2 世代繁殖試験において閾値が設定されたが、区分を特定できないため分類できない。

結晶質シリカ（石英）	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。

非晶質シリカ（非晶質沈降シリカ）	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。

ケイソウ土（SiO_2）	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。

ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	
生殖毒性	生殖毒性 ［区分 2］ 追加区分 ［授乳に対するまたは授乳を介した影響］

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

シメコナゾール	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	知見なし
結晶質シリカ(石英)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	シリカゲル (Syloid 244) は気道刺激性があるとの報告 (SIDS (2006)、ECETOC JACC (2006)) から、区分 3 (気道刺激性) とした。
ケイソウ土(SiO_2)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (免疫系, 呼吸器系, 腎臓)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (肝臓)

シメコナゾール	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	マウスを用いた反復経口投与試験において、55.09 mg/kg/日以上の投与群で肝重量の増加、肝細胞肥大及び肝細胞脂肪変性が認められたため、区分 2(肝臓)とした。[区分 2 (肝臓)]
結晶質シリカ(石英)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトにおける多くの疫学研究において、本物質の職業ばく露と呼吸器への影響が確認されているほか、自己免疫疾患、慢性腎疾患及び無症状性の腎変性もみられている (SIDS (2013)、CICAD 24 (2000)、DFGOT vol. 14 (2000))。この腎臓の疾患は自己免疫が関連していると考えられている (SIDS (2013))。実験動物においても、ラットを用いた反復吸入ばく露試験により肺の線維化が確認されている (SIDS (2013))。したがって、区分 1 (呼吸器、免疫系、腎臓) とした。
非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトにおいて影響はみられず、実験動物においては、吸入経路において軽微な影響のみみられ、経口経路では影響はみられていないことから、分類できないとした。
ケイソウ土(SiO_2)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	本物質は結晶質シリカを含むことから区分 1 (呼吸器) とした。

誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性　短期(急性) : 水生生物に有害
魚類急性データに基づき、区分 3 とした。

水生環境有害性　長期(慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に有害
急性区分 3 であり、急速分解性が不明であることから、区分 3 とした。

パッチコロン®水和剤	
LC50 - 魚 [1]	29.8 mg/L コイ
EC50 - 甲殻類 [1]	116 mg/L ミジンコ

パッチコロン®水和剤	
ErC50 藻類	30.0 mg/L 緑藻

残留性・分解性

パッチコロン®水和剤	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

パッチコロン®水和剤	
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性

パッチコロン®水和剤	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

推奨製品/梱包処分 : 固体廃棄物については適用法令を遵守する。
管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

残余廃棄物 : 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理すること。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託すること。

地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報 : 空の容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当

正式品名 (UN RTDG) : 非該当

容器等級(UN RTDG) : 非該当

輸送危険物分類（UN RTDG） : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

緊急時応急措置指針番号	: 171
その他の情報	: 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9） 結晶質シリカ 【改正後 令和8年4月1日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2） 非晶質シリカ（シリカゲル及び沈降シリカに限る。） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9） 結晶質シリカ（政令番号：165 の 2）(22%) 【改正後 令和8年4月1日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2） ナトリウム＝1，4－ビス[（2－エチルヘキシル）オキシ]－1，4－ジオキソブタン－2－スルホナート (0.7%) 非晶質シリカ（シリカゲル及び沈降シリカに限る。）(6.0%) がん原性物質（安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号） 結晶質シリカ
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非危険物
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）（管理番号：30）(1.2%)
農薬取締法	: 登録番号第 20695 号
じん肺法	: 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業 カオリン シリカ

16. その他の情報

パッチコロンは三井化学クロップ＆ライフソリューション株式会社の登録商標です。

水溶性パック入り剤について：本安全データシートの情報は、内容物のデータに基づくものです。

安全データシート

パッチコロン®水和剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

免責条項　当該シートに記載されている情報は現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意して下さい。含有量、物理的及び化学的性質、危険有害性等の記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。
また、製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負いかねます。
なお、当該シートは本製品にのみ適用され、本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがありますので、ご注意の上、お取り扱い願います。